

○ とちぎユースチャレンジ応援事業活動実績

平成28年度

団体名	鹿(しか)猫(ねこ)	宇都宮大学あいあい食堂	ぼたり
所在地	鹿沼市	宇都宮市	栃木市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:99,744円) 【構成員】 代表:金子智英</p> <p>【事業名】 木リンピック</p> <p>【事業目的・実績】 ○木のまち鹿沼を広く市内外にPRするとともに、木育の一環として「木まち」お意識を高める機会とする。また、若者が中心となって子どもから大人まで遊べる場を創出し、「地域の子カラ」つを醸成し、世代間交流と地域コミュニティの充実を図る。</p> <p>・11月26日(土)/27日(日):木リンピック (粟野勤労者体育館) ・2日間で500名以上が来場</p> <p>【事業の効果】 ・市内の業者等に協力を依頼し、子どもから大人まで遊べる木製遊具を制作できた。 ・遊びを通して、参加者が鹿沼産木材を身近に感じたり、直接木材に触れることで、老若男女問わず、木のもつ温かさを感じたりできる機会を創出できた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:40,353円) 【構成員】 代表:松田悠希</p> <p>【事業名】 コミュニティ食堂</p> <p>【事業目的・実績】 ○貧困家庭の子どもたちが大勢で食事を楽しんだり、学習したりできる居場所を創出する。</p> <p>・10月から2月までの計5回実施(18:00~20:00) 10月28日、11月25日、12月16日、1月27日、2月24日 (コミュニティビジネス支援施設「ソノツギ」)</p> <p>【事業の効果】 ・利用する子どもたちと大人が楽しく話をしながら会食したり、食事後にそれぞれが好きな時間を過ごせるように工夫したりすることで、居心地の良い空間づくりを行うことができた。</p>	<p>(短期/事業規模:93,645円) 【構成員】 代表:神山裕紀</p> <p>【事業名】 栃木市を想うアラサー同窓会</p> <p>【事業目的・実績】 ○シェアスペースの運営をととして、栃木市にUIJターンした30歳前後の(アラサー世代)就業・起業・出店・就農者、東京栃木間を往来する事業者をゲストに招き、トークセッションの開催することで同世代の取組や地域課題について語り合う同窓会を開催する。</p> <p>・2月26日(日) トークゲスト4名によるトークセッション グループトーク(交流会) (シェアスペース「ぼたり」)</p> <p>【事業の効果】 ・様々なトークゲストに30歳を迎えるまでの道のりや栃木市への思い、今後の展望を語ってもらうことで参加者が栃木市での生き方・働き方等について考えを深める機会を提供できた。</p>

平成29年度

団体名	横枕青年団 未来会	あいあい食堂(H28～)	こどものまちUST実行委員会
所在地	那須烏山市	宇都宮市	宇都宮市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:153,882円) 【構成員】 代表:掛札研輔</p> <p>【事業名】 ど田舎創生 横枕青年団 ど田舎祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○横枕地区全世帯を対象としたイベントを開催し、地域住民の交流の場を創出したり、地場産食材を使用した模擬店を出店したりすることで、地域の魅力を再発見・再発信し地域への愛着形成を図る。</p> <p>・10月28日(土):横枕青年団 ど田舎祭り (みつわ工房GH駐車場) ・来場者 約200名</p> <p>【事業の効果】 ・地域の若者が参画し、次世代リーダーの育成と新しい青年団活動の体制づくり強化につながった。 ・地域の育成会と連携し、地域の子どもたちを対象としたイベントを実施することで、地域への愛着形成のきっかけをつくることのできた。 (「いつまでもここに住んでいたい」、「また戻ってきたい」と思える地域づくりにつなげることができた。)</p>	<p>(中・長期/事業規模:87,279円) 【構成員】 代表:松田悠希</p> <p>【事業名】 コミュニティ食堂</p> <p>【事業目的・実績】 ○20代学生や社会人を対象として、「食」という身近なテーマから異文化に触れたり、公的機関・団体等の体験報告会に参加したりしながら、青少年が国際交流への興味を高めるきっかけを作る。</p> <p>・毎月1回開催(8月からは2回開催)</p> <p>【事業の効果】 ・昨年度の事業実施における利用者からの声を反映して、開催回数を月2回に増やし、利用促進を図ることができた。 ・回数増加直後は、大人の利用者しかなかったが、広報活動を工夫し、親子での利用を増加させることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:126,488円) 【構成員】 代表:落合安純</p> <p>【事業名】 こどものまちUST</p> <p>【事業目的・実績】 ○異年齢、他校の子どもたち同士が、大人とのかかわりを通して、社会の仕組みを学ぶ</p> <p>・6月:「こどものまちづくり隊」募集・近隣小中学校・高校への広報(学校数7校) ・7月:実行委員会開催 8月～1月:広報活動・実行委員会開催 2月17(土)・18(日):こどものまちUST (宇都宮大学学生会館2F)</p> <p>【事業の効果】 ・2日間で130名(17日:67名、18日:63名) ・異年齢、他校の子どもたち同士、大人のかかわりにより、参加者が新たな知見を得たり、視野を広げたりすることができた。 ・子どもたち自身が運営に携わることにより、より深く社会のしくみを自主的・自律的に理解することができた。</p>

団体名	一般社団法人えんがお	チャレンジing SHS(South High school)	水棲む森
所在地	大田原市	那須塩原市	日光市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:328,575円) 【構成員】 代表:濱野将行</p> <p>【事業名】 市民参加型支え合いプロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○地域の若者を中心に、高齢者の「介護予防」や「孤立化予防」とその解消に向けた仕組みづくりと実践を行う。</p> <p>・7月から1月にかけて、週に1～2回程度の生活支援</p> <p>【事業の効果】 ・依頼件数77件、会話時間2640分(44時間) ボランティア参加者 延べ215人 ・高齢者の困りごとの中で、介護保険で対応できないものに対して、学生ボランティアと地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携して対応できた。 ・地域商工会とつながり、地域課題であった空き家を改修・有効活用し、事業を推進した。 ・高齢者を支援する仕組みを整えることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:162,854円) 【構成員】 代表:林 祐亜</p> <p>【事業名】 チャレンジing (South High School)</p> <p>【事業目的・実績】 ○地元事業の夏祭りに高校生が参画し、多世代との交流とコミュニケーション力の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを目指す。</p> <p>・8月20日(土):夏祭り(埼玉小学校校庭)</p> <p>【事業の効果】 ・少子化が進み、子ども育成会活動に影響が出ている埼玉地区において、子どもたちを対象としてイベントを実施し、地域を盛り上げることができた。 ・イベントを通して、世代間交流が促進され、新たな人のつながりが生まれた。 ・することができた。</p>	<p>(短期/事業規模:117,250円) 【構成員】 代表:橋本春加</p> <p>【事業名】 フォレストスクール</p> <p>【事業目的・実績】 ○地元小学生を対象に、人工林の山が荒廃している現状を知り、人工林を守る取組として「伐って使って、植える」という循環を大切にすることや、地域木材資源の利用による環境貢献と地域産業</p> <p>・12月18日:伐採製材見学ツアー (日光市城山山内) (株式会社大和木材工場)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者17名 ・木が伐り倒される様子を目の前で見学し、その丸太がどのような手順で加工されていくのかを参加者が理解することで、自然に目を向けるきっかけをつくることのできた。 ・実際の作業実演と簡単な木工体験教室を実施することで、参加者が木材に触れ、環境への意識を高める機会をつくることのできた。</p>

平成30年度

団体名	私たちのあしあと	「食」を通じて世界を知ろう」実行委員会	とっておきの音楽祭 inうつのみや準備委員会
所在地	那須塩原市	宇都宮市	宇都宮市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:185,224円) 【構成員】 代表:小倉実季</p> <p>【事業名】 JK×festival アタランイマツリ</p> <p>【事業目的・実績】 ○新設2年目の埼玉小学校の「埼玉コミュニティ事業」に高校生が企画提案・参加し、地域への愛着を育むとともに、世代間交流の促進を図る。</p> <p>・7月上旬:コミュニティ盆踊り企画会議への参加 8月19日(日):会場準備、運営補助、模擬店出店(埼玉小学校) 8月20日(月):会場片付け、清掃活動</p> <p>【事業の効果】 ・小学生・中学生、他地域の高校生、地域住民の多世代間交流が促進された。 ・学校を核とした地域コミュニティづくりを進める中で、若者の視点を生かした企画・運営を行い、若者のコミュニティスキルの向上と、地元への愛着を深めることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:105,072円) 【構成員】 代表:遠藤友紀</p> <p>【事業名】 「食」を通じて世界を知ろう」～調理実習/外国人の自文化紹介レクチャーを通して～</p> <p>【事業目的・実績】 ○20代学生や社会人を対象として、「食」という身近なテーマから異文化に触れたり、公的機関・団体等の体験報告会に参加したりしながら、青少年が国際交流への興味を高めるきっかけを作る。</p> <p>・9月22日(土):イベント内容の検討 10月5日(金):当日の流れ、調理内容、広報の検討 図書館・役所・国際交流団体、高校へのちらし・案内送付 12月16日(日):「作ろう! 食べよう! 学ぼう! オージーランチパーティー」の開催(宇都宮市総合コミュニティセンター2F)</p> <p>・参加者18名</p> <p>【事業の効果】 ・会場内展示やイベントにおける講師との積極的な交流により、異文化への理解が深まり、国際交流や関連事業への関心が高まった。</p>	<p>(中・長期/事業規模:144,334円) 【構成員】 代表:沼野彩香</p> <p>【事業名】 とっておきの音楽祭 inうつのみや</p> <p>【事業目的・実績】 ○障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に音楽を楽しむ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指すストリート音楽祭の開催を目指す。</p> <p>・9～10月:準備委員会(実行委員会)開催 ・11～2月:実行委員会・企画運営会議開催 ・2月24日(日):プレ音楽祭 バルティ 男女共同参画センター 映画上映と音楽祭による2部構成</p> <p>【事業の効果】 ・延べ200名来場 ・映画上映や音楽祭での全編字幕、手話通訳などのユニバーサル上映や、車椅子来場者等へ配慮した環境整備の充実を取り入れた事業実施の実績を残すことができた。 ・環境面だけでなく、今の社会の生きにくさや心のバリアフリーについて考える機会を提供できた。</p>

団体名	ミライ×キャンパス実行委員会	Your Dream	カラフルうつのみやキッズ
所在地	宇都宮市	那須塩原市	宇都宮市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:71,097円) 【構成員】 代表:山崎千織</p> <p>【事業名】 ミライ×キャンパス2018</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内、県外で活躍する先輩、同世代をゲストとして招いたトークセッションやゲスト団体の活動内容体験会を実施し、高校生や大学生、若者が「自分」や「地域」を好きになることや「ミライ」について考え交流する場を設定する。</p> <p>・9月9日(日):自分×ミライ「〇〇で不安だったのか」 11月11日(日):地域×ミライ「地域で発見、ミライの兆し」 1月20日(日):仕事×ミライ「働くミライって何だろう」 2月24日(日):イマ×ミライ「ミライは変わる、イマ動け」(宇都宮まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者の自己理解の深まりや地域課題に目を向ける経験を通して、自分の将来について考え、行動しようとする意欲が高めることができた。 ・ゲストスピーカーによる「働くこと」や「社会人になること」に関する講話から、参加者が自身の仕事観や働くことに対する価値観の形成につながった。</p>	<p>(短期/事業規模:84,031円) 【構成員】 代表:大鹿哲太</p> <p>【事業名】 高林寺地区夏祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○伝統芸能の継承と新しい祭りの融合として、音楽を中心として、地域住民の多世代での交流の促進を図る。</p> <p>・6月13日:企画会議参加 6月18日:LINE会議 7月:運営会議 8月11日(土):夏祭り(高林寺境内)</p> <p>【事業の効果】 ・地域にある寺院を会場とし、寺院の取組と連携して事業を展開することで、60年ぶりの夏祭りを実施することができた。 ・高齢者が若者に踊りを教える姿が見られるなど、小学生から高齢者までの多世代間の交流の促進が図られた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:40,035円) 【構成員】 代表:荻野友香里</p> <p>【事業名】 宇都宮市にくらす、外国にルーツを持つ子どもたちサポート事業</p> <p>【事業目的・実績】 ○外国にルーツを持つ小中学生が、日本語学習や日本文化体験、日本料理作りの体験を通して、新たな友達をつくることができ、日本の暮らしになれ、日本を好きになれる機会を創出する。</p> <p>・8月～2月に計14回(各月2回、10月のみ3回) 毎週火曜日 日本語学習サポート (キッズハウス いろどり) ・延べ参加人数20名 ・2月23日(土):「食」と「遊び」とおして世界を知る、「ワールドキッズフェスタ」の開催</p> <p>【事業の効果】 ・コミュニケーション力が低く経験不足が感じられる子どもたちの学習意欲や能力の向上が図られた。 ・対象となる子どもたちが友達の輪に入り、楽しそうに活動する姿が見られた。 ・子どもたちの個々のニーズに合わせた事業が展開できた。</p>

令和元年度

団体名	ミライ×キャンパス実行委員会(H30～)	とちぎ高校生蔵部OBOG会	Your Dream Kuroiso
所在地	宇都宮市	栃木市	那須塩原市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:101,021円) 【構成員】 代表:山崎千織</p> <p>【事業名】 ミライ×キャンパス2019</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内、県外で活躍する先輩、同世代をゲストとして招いたトークセッションやゲスト団体の活動内容体験会を実施し、高校生や大学生、若者が「自分」や「地域」を好きになることや「ミライ」について考え交流する場を設定する。</p> <p>・12月14日(土):環境×ミライ「企業と地域と私たち」(宇都宮まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」) 2月22日(土):スペシャル講義「先輩に学ぶ」(宇都宮大学峰ヶ丘講堂)</p> <p>【事業の効果】 ・第1回は12名、第2回は17名が参加。(大学生を中心に、高校や社会人も参加) ・企業の環境への取組に関する話や漫画家とデザイナー・映画監督のゲストスピーカーによる話から、企業努力や職業に就くまでの経緯や苦労等を学び今後の選択につなげる機会を提供できた。 ・講話後のワールドカフェ形式での意見共有を通して参加者同士の学びを深めることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:73,345円) 【構成員】 代表:大森実彩希</p> <p>【事業名】 GOMIモンGO 街をピカピカ中!</p> <p>【事業目的・実績】 ○蔵の街栃木を来訪した観光客に、きれいに清掃された街を堪能してもらえるように、ワークショップ清掃活動を蔵の街大通りで実施する。</p> <p>・8月4日(日):第1回(蔵の街大通り)、11名参加 10月6日(日):第2回(巴波川周辺)、9名参加 1月19日(日):第3回(市民活動センター)5名参加</p> <p>【事業の効果】 ・清掃活動や環境カウンセラーの研修を踏まえて、ごみが捨てられやすい環境と人間心理について学び、地域の県境保全に必要な知識を得ることができた。 ・市の市民活動推進センターと連携した取組を行い、地域の地理的特徴と災害ごみとの関連を調査し、地域への理解を深めることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:99,033円) 【構成員】 代表:菊地奏太</p> <p>【事業名】 ベンチプロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○ベンチプロジェクトの賛同者を増やし、街中のベンチを増やすとともに、ベンチの設定による交流を生み出し、その結果を検証する。</p> <p>・ベンチを設置した日付・場所等 8月3日(土):高林寺夏祭り 11名利用 8月25日(日):大田原朝市 4名利用 10月27日(日):巻きがりまつり 6名利用 12月28日(土):お互いさま広場 13名利用</p> <p>【事業の効果】 ・実証実験を行うことで、ベンチ設置における地域住民の交流促進効果を検証することができた。 ・地域自治会と協力し、ベンチに加えて看板を設置し情報発信と利用促進を図ることができた。 ・ベンチ設置により、地域住民の人と人との新たな接点を生み出すことができた。</p>

団体名	Your Dream ♪		
所在地	那須塩原市		
事業の概要	<p>(短期/事業規模:148,109円) 【構成員】 代表:角田隼也</p> <p>【事業名】 高林寺夏祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○昨年度の事業を踏まえて、2年ぶりに復活した夏祭りにおいて、地元の子どもの参加意識を高め、主体的に企画を行うことを通して、若者の社会参画の意識を高める。</p> <p>・8月3日(土):夏祭り(高林寺境内)</p> <p>【事業の効果】 ・2年目の事業となる今年度は、地域の若者だけではなく、他地域の若者と連携して事業を実施できた。 ・中学生と高校生の連携を図り、縦の関係を築くことで持続可能な体制づくりを行うことができた。 ・ベンチプロジェクトとの連携を図り、地域住民同士や他地域の参加者と地域住民との交流が促進された。</p>		

令和2年度

団体名	特定非営利活動法人 キーデザイン	とちぎカメラ部	未来創造ネットワーク白鷗
所在地	宇都宮市	宇都宮市	小山市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:91,413円) 【構成員】 代表:土橋優平</p> <p>【事業名】 不登校に悩むお母さんお父さんの無料LINE相談窓口「お母さんのほけんしつ」</p> <p>【事業目的・実績】 ○子どもの不登校に悩む保護者を対照に、無料で制限なしのLINE相談窓口を開設し、悩みや困りごとの解決を図る。また、相談から次の一歩となるフリースクールや親の会等へのつながりづくりを行う。</p> <p>・LINEオフィシャルアカウントにて相談窓口「おかあさんのほけんしつ」を開設(R2.5.25～)した。 ・友だち登録数390件、130名以上の相談を受付 ・相談後に支援団体へのつながりや学習サポートも行った、「ほけんしつのミニカード(名刺サイズ)」を作成・配布し、悩みをもつより多くの保護者やNPO団体、企業等へ周知を行った。</p> <p>【事業の効果】 ・相談業務により、辛い立場にある保護者の助けとなるとともに、家庭内だけでは解決できない問題に対するストレスの軽減につながった。 ・相談業務だけに止まらず、次につながる支援先との連携など、幅広い支援を行うことができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:91,137円) 【構成員】 代表:須賀未樹</p> <p>【事業名】 とちぎカメラ部</p> <p>【事業目的・実績】 ○栃木県の新しい魅力(人・団体・観光地・飲食店等)を積極的に発信し、地方創生を行う。</p> <p>・2月13日・14日:「charm in tochigi ～魅力を栃木で見つける～」 栃木県の魅力を発見する写真展(cafè ink blue2階レンタルスペース) 栃木県の魅力の発信と世代や団体を越えた交流がなされた。</p> <p>・ポストカード撮影・製作 日光にある2つの店舗を撮影した写真を使って、ポストカードを制作した。</p> <p>【事業の効果】 ・写真展 2日間で62名来場。 ・写真展を開催し、栃木県の魅力発信と世代間の交流が促進された。 ・ポストカード作成にあたって、日光市内の店舗に協力を依頼し、事業者と連携した取組を行うことができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:68,379円) 【構成員】 代表:中村永遠</p> <p>【事業名】 小山まちなか調査隊</p> <p>【事業目的・実績】 ○小山市の小学生に、地域の歴史や伝統に対する魅力を再発見してもらい、小山市に対する愛郷心を育む。</p> <p>・12月19日(土):フィールドワーク 市民活動センターおやま～ 小山駅西口の11店舗 ・2月14日(日):下野人形づくり</p> <p>【事業の効果】 ・小山市内でのフィールドワークにおいて、小山駅西口11店舗に協力を依頼し、インタビューや体験活動を行うことで、地域理解が深まった。 ・伝統工芸品制作体験では、小山市の無形文化財に指定されている下野人形づくりを行い、伝統文化②親しみ、市の魅力の再発見につながった。</p>

団体名	NPO法人 シェアハッピーエール	栃木きょうだい会	とちぎ高校生蔵部OBOG会(R1～)
所在地	宇都宮市	那須塩原市	栃木市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:円) 【構成員】 代表:渡邊優那</p> <p>【事業名】 ゲーム体験とお絵かきを通して学ぶ「小学生にもわかるSDGs」</p> <p>【事業目的・実績】 ○小学生がSDGsについて学び、「分かち合うことの大切さ」について理解を深めることを目的とし、子どもたちにとって、親和性の高いコンテンツを使った啓発を行う。</p> <p>・7月～2月までに県内小中学校やフリースクールでワークショップの実施や小冊子を配付 ・マイクラフトを用いて分かち合う世界と奪い合う世界を再現し、それらをYouTubeで発信。 ・県内の小中学校やフリースクールで持続可能な世界の実現について体験できるボードゲーム「Get The Point」を使ったワークショップを実施。 ・啓発資料として小冊子「楽しく学べる！SDGs」を作成して、協力を得た県内小中学校や地区市民センターに設置。</p> <p>【事業の効果】 ・ワークショップや啓発資料等を有効に活用し、参加した子どもたちのSDGsへの理解が深まった。</p>	<p>(短期/事業規模:92,754円) 【構成員】 代表:仲田海人</p> <p>【事業名】 ケアラーたちが思う人生観を共有するシンポジウム</p> <p>【事業目的・実績】 ○様々な立場のケアラー(高齢・身体上、精神上の障がいまたは疾病等により援助を必要とする親族友人等の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上等の援助を行っている人)が集い、家族それぞれが自分らしい人生を送るためにはどうすればよいかを様々な切り口で考えるためのシンポジウムを開催する。</p> <p>・12月30日～1月31日(オンライン公開) ・事前に撮影した動画に字幕をつけ、YouTubeで視聴できるように設定。 ・アンケート用の入力フォームの作成。</p> <p>【事業の効果】 ・視聴者数 640名、アンケート回答者50名 ・親やきょうだいの立場など、さまざまな視聴者を想定した内容にすることで、ケアラーが抱える悩みや課題を広く発信し、当事者以外のケアラーへの理解を促したり、当事者へ専門的見地からの助言を得る機会を設けたりする場を提供した。</p>	<p>(中・長期/事業規模:89,793円) 【構成員】 代表:清水慶也</p> <p>【事業名】 Harry Pottyaryと非密の部屋掃除</p> <p>【事業目的・実績】 ○現代の清掃ではなかなか使用されていない栃木市の伝統工芸品である都賀の座敷箒を、清掃に使用し、伝統を後世につないでいくために、現代に合った使用法を考え、SNS等で発信していく。</p> <p>・9月2日(水):ホウキモロコシの収穫(ぬい農園) ・9月19日(土):湯通し・脱穀(ぬい農園) (栃木農業高校) ・10月17日(土):ホウキモロコシの種の収穫(同上) ・10月18日(日):箒職人による箒作りの指導 ・11月7日(土):箒作り①(パーラートチギ) ・11月22日(日):箒作り職人による指導 ・12月13日(日):箒作り②(パーラートチギ) ・1月9日(土):動画作成(パーラートチギ)</p> <p>【事業の効果】 ・箒の原材料となるホウキモロコシの栽培・収穫したり、箒職人の指導の下で制作したりすることで伝統工芸に対する理解を深めることができた。 ・栃木農業高校農業環境部や農園経営者の指導協力を得ながら連携した取組ができた。 ・InstagramとTwitterでの動画配信により、都賀の座敷箒の魅力をより多くの若者に発信できた。</p>

令和3年度

団体名	ユースボランティアはためく	U-campus実行委員会	棚田復活プロジェクト
所在地	矢板市	宇都宮市	茂木町
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:70,296円) 【構成員】 代表:古河原花菜</p> <p>【事業名】 ジェンダーについてもう一度考えるイベント「Re Think」</p> <p>【事業目的・実績】 ○学生を含む地域住民に対して、男女平等や「女性らしさ・男性らしさ」、LGBTQ+など、ジェンダーに関する諸問題を自分事として考えるための情報展示やディスカッション、講演等を行い、ジェンダーの在り方を再考する機会を設ける。</p> <p>・6月25日(金)～27日(日)第1回 Re Think ～多様な性のあり方とわたしたち～ ・10月15日(金)～17日:第2回 Re Think ～ジェンダーからみる「らしさ」～ ・12月5日(日):第3回 Re Think ～知ることからはじまる。あなたと「多様な性」のおはなし。(講演会・ディスカッション) ※会場はすべて、矢板にぎわい館</p> <p>【事業の効果】 ・第1回参加者:3日間で81名 ・第2回参加者:3日間で22名 ・第3回参加者:現地12名、オンライン14名 ・各イベントを通して、ジェンダーに関する諸問題を自分事として捉える機会を提供できた。また、大学准教授による講演会を企画し、専門的知識を得る場を設定し、参加者と問題意識を共有することができた。</p>	<p>(短期/事業規模:73,135円) 【構成員】 代表:大塚彩菜</p> <p>【事業名】 U-campus</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内の高校に在籍している又は県内在住の高校生が、自分への理解を深めたり、多様な選択肢を模索したりするワークショップを通して、進路選択に対する視野を広げ、自分の将来設計について考えるイベントを開催する。</p> <p>・8月21日(土)・22日(日):第1回U-campus (cafe ink blue)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:2日間で14名 ・進路選択に関するワークショップを通して、自分についてより深く知ったり、学年段階に応じて進路選択の幅を広げることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:118,912円) 【構成員】 代表:渡邊幸樹</p> <p>【事業名】 茂木町耕作放棄地棚田復活プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○茂木町で耕作放棄地となっている棚田を復活させることを通して、農村文化を守り、活動にかかわる大学生と地域住民の交流を促進する。</p> <p>・5月:田植え ・7月11日(日):草取り ・7月17日(土):ホテル観察会 ・8月7日(土)・28日(土):草取り・防護ネット設置 ・9月25日(土):稲刈り・おだげ ・10月10日(日):脱穀 ・11月14日(日):収穫祭 ・12月26日(日):もちつき参加</p> <p>※会場はすべて、茂木町早坂の家、早坂の棚田</p> <p>【事業の効果】 ・中山間地域の棚田の景観維持や周辺の環境保全に大きく寄与するとともに、地域住民との積極的な交流を図り、里山の魅力発信と地域課題の解決に取り組むことができた。</p>

団体名	4大学連携ゼミアントレプレナー研究会	佐野市の子どもを応援する学生の会	未来の学校
所在地	宇都宮市	佐野市	那須塩原市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:72,740円) 【構成員】 代表:山内祥輝</p> <p>【事業名】 とちぎ学生・若者チャレンジ応援プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○宇都宮市内の4私立大学(作新学院大学・文星芸術大学・宇都宮共和大学・帝京大学)と行政、企業、NPO、クリエイター等が連携し、創造都市宇都宮圏の形成に向けたアイデアを出し合い、それを具現化するための交流の場を設ける。</p> <p>・11月26日(金) 第1回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・12月10日(金) 第2回 講師:とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井俊宗 氏 ・12月21日(火) 第3回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月14日(金) 第4回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月21日(金) 第5回 講師:光琳寺住職 井上広法氏</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:7名(全5回共通) ・起業や活動を始めようとする若者・学生を対象として、専門的な知識を有する起業の先輩を講師に迎え、「はじめての一步」を踏み出すために必要なスキルの向上を図ることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:25,042円) 【構成員】 代表:山本朋果</p> <p>【事業名】 子どもの笑顔種まきプロジェクト</p> <p>【事業の概要】 ○困難を抱える子どもたちを対象とした夏祭りや秋・冬のイベントを開催し、参加する子どもたちが、よりたくさんの人とかかわる楽しさを感じることで交流の場を創出する。</p> <p>・7月23日(金):フードドライブ準備(子どもとなり佐野) 8月1日(日):フードドライブ準備(子どもとなり佐野) 9月4日(土):佐野高校旭城祭(佐野高校) 活動紹介とフードドライブ 12月19日(日):ふゆまつり(佐野市市民活動センター)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:23名(ふゆまつり) ・フードドライブやふゆまつりの活動をおとして、困難を抱えた保護者やその子どもたちに対する支援を積極的に行い経済支援と子どもたちの豊かな経験につなげる体験活動を企画し、対象家庭を支えることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:100,306円) 【構成員】 代表:大鹿哲太</p> <p>【事業名】 未来(社会教育)を学ぶ、地域の学校 ～世代間交流の場を作る～</p> <p>【事業の概要】 ○地域の空き家を改修して青少年の居場所とし、活動拠点としながら季節に合わせたイベントの企画や地域住民を講師としたワークショップを開催することで、世代間交流の場を創出する。</p> <p>・7月21日(水):近隣挨拶 ・7月23日(金):草刈り、近隣挨拶 ・7月31日(土):草刈り、改修作業 ・8月1日(日):土地建物小両者への事業説明 ・9月19日(土):草刈り、外壁塗装、清掃・畳張替 ・10月24日(土):改修作業とワークショップ ・11月20日(土):ぶつぶつ交換会 近隣小学校でのちらし配布 ・12月26日(日):ぶつぶつ交換会</p> <p>【事業の効果】 ・空き家改修作業を行い、地域の課題解決を行う拠点作りを進めることができた。 ・改修作業に合わせて地域住民や関連企業、団体と連携したイベント等を企画し、地域を支える「つながりの輪」を広げることができた。</p>